

【教材を理解する】

主題名：いつも正直に

「ねらい A 正直，誠実」

① 教材を読む。

教材名：「どんぐり」（自作資料集低学年第9集より）

授業のねらいとする道徳的価値に沿って、教材を読む。

【話合いの中心の検討】

ねらいとする道徳的価値に迫るための問いかけ。

② 児童に最も考え、話し合わせたい事（場面）とは何かを考える。

うそを二つついたのに、最後にもう一つうそをついてしまい胸がドキドキしている。その後、ようすけは正直に言うか言わないか。

【中心的な発問の検討】

考える必然性や切迫感がある、自由な思考を促し、多様な価値観を引き出す。

③ 話合いのきっかけを投げかける中心的な発問を考える。

この後、ようすけはお母さんに本当のことを話したでしょうか。それはなぜですか。

④ ③の話合いにおける児童の反応を予想する。

言う・言わないの二分法にする。

言う

- ・正直に言った方が気持ちいい。
- ・どんぐりが落ちたから。
- ・言わないとモヤモヤする。
- ・言わないと余計に怒られる。

言わない

- ・うそはばれないと思う。
- ・正直に言うときの方がもっとドキドキする。

⑤ 話合いを深めるための補助発問（問い返し・揺さぶり）等

ねらいとする道徳的価値や道徳的事象について多面的・多角的に考えさせる。

【前後の発問の検討】

- ⑥ 話合いの前提となる条件、主人公の状況（状況）等を整理する。

ようすけは3つうそをついてしまっている。

- ① こうじさんと学校で遊んでいたんだ。
- ② 先生もいって言ったんだよ。
- ③ こうじさんがくれたんだよ。

- ⑦ 中心的な発問を生かす前後の発問等を検討する。

前 or 後	発問等	児童の反応
前	ようすけが、さっきよりもっともっと胸がドキドキしたのはどうしてですか。	・たくさん嘘をついてしまったから。 ・どんぐりが落ちてしまって、ばれたと思ったから。

- ⑧ 展開の後半部（後段）で、自分自身を見つめさせる発問（一般化）を検討する。

発問等	児童の反応
今日の勉強で考えたことは、何ですか。	うそをつくと、気持ちがモヤモヤしてしまうのでうそをつかない方がいい。

自己を見つめる発問、自己の生き方を考える発問等。

【導入・終末の検討】

- ⑨ 導入と終末の仕方を検討する。

導入	終末
「うそをついたことがありますか。」「うそをつかれたことがありますか。」「うそをつこうと思ったけどやめたことはありますか。」のアンケート結果を提示。うそについて考えることを確認。	こんなにうそをついている人やうそをつかれて いる人がいるのか。

【板書の検討】

指導案参照